

第1章 交流の足跡

| 年度 | 北野 → ケント | ケント → 北野 |
|-------------|---|---|
| 1990（平成2）年 | 3月 篠原（柔道指導） | 加納治五郎書 北野へ贈呈 |
| | | 6月 マーク・ゲンター（ドイツ語） |
| 1991（平成3）年 | | 7月 校長 ウィルソン |
| 1992（平成4）年 | 3月 教員 2名 | 6月 教員 3名 生徒 2名 |
| 1993（平成5）年 | 3月 教員 2名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 1名 |
| 1994（平成6）年 | 北野高等学校国際交流基金創設 | |
| | 3月 教員 1名 生徒 2名 | 6月 教員 1名 生徒 2名 |
| 1995（平成7）年 | 3月 教員 1名 生徒 5名 | 6月 教員 1名 生徒 2名 |
| | 12月 年賀状・クリスマスカード交換 | |
| 1996（平成8）年 | 3月 教員 1名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 2名 |
| 1997（平成9）年 | 2月 両校生徒間文通 | |
| | 3月 教員 1名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| | 12月 年賀状・クリスマスカード交換（北野生34名 ケントウット生 約30名） | |
| 1998（平成10）年 | 3月 教員 1名 生徒 4名 姉妹校提携調印（調印日3月24日） | 6月 教員 1名 生徒 3名 |
| | 12月 年賀状・クリスマスカード交換 | |
| 1999（平成11）年 | 3月 教員 1名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| | 12月 年賀状・クリスマスカード交換 | |
| 2000（平成12）年 | 3月 教員 1名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| | 12月 年賀状・クリスマスカード交換 | |
| 2001（平成13）年 | 3月 教員 1名 生徒 4名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| | 12月 年賀・クリスマス メール交換 | |
| 2002（平成14）年 | 3月（2001年度）派遣は国際情勢等を考慮し中止 | 6月 教員 2名 生徒 9名 |
| | | ケント地区高校バスケットボールチーム （阿武野高校創立20周年記念行事関連） |
| | 12月 レター交換（オーラルの授業） | |
| 2003（平成15）年 | 3月 教員 1名 生徒 7名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| | 12月 レター交換（オーラルの授業） | |
| 2004（平成16）年 | 3月 教員 1名 生徒 5名 | 6月 教員 1名 生徒 6名 |
| | 12月 レター交換（オーラルの授業） | |
| 2005（平成17）年 | 3月 教員 1名 生徒 5名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| 2006（平成18）年 | 3月 教員 2名 生徒 5名 | 6月 教員 2名 生徒 4名 |
| | | （内教員1名は私的訪問） |
| 2007（平成19）年 | 3月 教員 2名 生徒 5名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| 2008（平成20）年 | 3月 教員 2名 生徒 5名 | 6月 教員 1名 生徒 4名 |
| 2009（平成21）年 | 3月 教員 2名 生徒 5名 | 7月 教員 1名 生徒 4名 |
| 2010（平成22）年 | 3月 教員 2名 生徒 5名 | 7月 教員 1名 生徒 4名 |
| 2011（平成23）年 | | 7月 教員 1名 生徒 4名 |

第2章 滞在日程

| | | |
|------|----------|--|
| 第1日 | 7月8日（金） | 15：15 United Airline 885便にて 関西空港着 阿武野高校各ホストファミリー出迎え |
| 第2日 | 7月9日（土） | 阿武野高校ステイ① |
| 第3日 | 7月10日（日） | 阿武野高校ステイ② |
| 第4日 | 7月11日（月） | 阿武野高校ステイ③ |
| 第5日 | 7月12日（火） | 阿武野高校ステイ④ |
| 第6日 | 7月13日（水） | 夕刻 ホスト交代（阿武野高校→北野高校） |
| 第7日 | 7月14日（木） | 北野高校ステイ① 午前 オリエンテーション 昼休み 生徒集会にて紹介 午後より 授業体験 |
| 第8日 | 7月15日（金） | 北野高校ステイ② |
| 第9日 | 7月16日（土） | 北野高校ステイ③（学校主催のバスツアー） |
| 第10日 | 7月17日（日） | 終日各ホストファミリーと共に |
| 第11日 | 7月18日（月） | 北野高校ステイ④ |
| 第12日 | 7月19日（火） | 北野高校ステイ⑤ 放課後 farewell party（六稜ホールにて） |
| 第13日 | 7月20日（水） | 17：10 United Airline 886便 関西空港発帰途に |

第3章 交流の日々

#1 Kyle & K さんご家族

8 days with Kyle Woo

K・M

今回のホストファミリーをやり終えて、本当にやってよかったと感じています。昨年もこの受け入れに応募したのですが、抽選に外れてしまい、今年はいよいよと乗り気ではありませんでした。しかし、なんでそんなことを考えていたのか？と思うぐらい楽しい日々を過ごすことができました。

Kyleと初めて会ったのは、阿武野高校のホストファミリーの方のお家に迎えに行ったときでした。車中ではどんな物が好きか？などを話しました。そのときには大人しいのかな？と思っていました。9時前に家に着き、まずは明日からのおおまかな予定を確認。そして写真撮影したのですが…4人とも表情がたかくなっていました。日本に来てから一回もご家族に連絡していなかったらしく、連絡したらと催促してノートPCを使ってもらいました。その後アメリカのお土産をくれました。明日から一緒に登下校！英語が喋れなくて気まづくなったらどうしよう…そんなことを考えていました。次の日、午前中はオリエンテーション、昼休みにはみんなの前であいさつです。

翌朝(5:50起床！眠い！)はまずKyleは朝シャン。むこうでは朝お風呂に入るのが普通なんですね。三限が終わってケント生のあいさつ。日本語うまかった！普段も日本語で話してくれたらいいのに。昼食は食堂で。ファンタってむこうにもあることをこの時知りました。放課後はESSのみんなと一緒にミニオリエンテーション。Lindyとケントの子達の英語についていけない。帰宅中には甲子園の説明。都道府県別に予選があつてとか、電子辞書片手に説明。わかってくれた時はやっぱり嬉しいです。夜はずっとゲームしていました。Wiiは持っているそうで、全く同じだそうです。マリオカートは、自分が勝った記憶がありません。

翌日はHRの時間に一組のみんなと「BECK」を鑑賞。マンガで読んだことがあるそうです。昼休みはラウク先生のBirthday Party！その日の放課後、吹奏楽部を見に行ったそうで、とてもよかったと言っていました。

土曜日は大阪城、海遊館にみんなで行きました。大阪城はかなり興味津々でした。お土産に武将(誰だったか忘れましたが…)のタオルを買っていました。しかし、それからが結構大変でした。学校に帰ってから、祇園祭に行きました。自分も行ったことがないのですが、聞いていたとおりにすごい人の数でした。マツは人の多いところがダメみたいで、一時結構調子が悪くなってしまいましたが、その後はよくなりました。こっちとしては彼らの体調が悪くなることをかなり心配していました。祇園祭のメインである山鉾の説明がかなり難しかったです。帰りにプリクラを撮って解散。帰宅すると日が変わってしまっていました。

次の日は両親と六甲山に行ったそうで、車酔いをしちゃったそうです。展望台からの風景はよかったそうです。お昼には合流して一緒にご飯。天ぷらうどん。一日一回はうどんを食べていました。大好きだったらしく…

海の日には友達に何人か来てもらって、たこ焼きパーティをしました。何年かぶりに出てきたうちのたこ焼き器。かなり久しぶりでした。このころぐらいから、何が食べたいとか、これがしたいとかを言うようになりました。かなり慣れてくれてきたのかなと思い、嬉しかったです。夕方からはお土産を買いにバラエティーショップ？みたいなところへ。うちわや、タペストリーを買っていました。気に入ってくれるとうれしい。晩御飯はとんかつ！二人で4枚も食べました。

シアトルに帰る前の日は、farewell partyでオーケストラ部やダンス部の皆さんが発表をしてくださいました。自分もスピーチをしたのですが、何をしゃべったのか覚えていません。それからみんなで花火の予定だったのですが、かなり雨が降っていたので、ボウリング。花火したかったけど、楽しんでもらえたかな？

いよいよ滞在最後の日。朝から暴風警報が出ていて、ひょっとして？と思っていたのですが。見事に15分前ぐ

らいに解除されてしまいましたね。関空までお見送りに行きたかったです。

こうして約一週間はあっという間に過ぎていきました。こんな経験はめったにすることができません。ぜひ積極的に応募してください！きっと、受け入れてよかったと思えるはずです。下手な文章で申し訳ありませんでした。この受け入れにご協力くださった、先生方、他のホストファミリーの方たち、学校みんな、ありがとうございました。来年はぜひシアトルに行きたいです。今からくじ運をためておかないと…

カイルを迎えて (保護者)

ホームステイの受け入れが決まって以来、なんとかベッドと小さな机だけを残しひと部屋を用意して、受け入れを楽しみに待ちました。

当日、カイルを迎えに行った時、阿武野高校の受け入れ先の保護者の方が一週間の食事内容や行動、訪問先など細かく記入したレポートを渡して下さい、大変参考になりました。自宅に着いた日は、平日の夜だったのですが、少し話すこともでき、家族と写真撮影もしました。

カイルは、とても落ち着いた印象で、少しシャイな男の子です。最初、無口に思ったのは、やはり私の英語力の問題(?!)だったのでしょうか。息子(電子辞書が手放せぬようでしたが)とは、意外にコミュニケーションがとれていたようでした。朝は、ちょっぴり起きづらそうだけれど、きちんとシャワーを浴び、しっかり朝食をとり、息子と学校へ出かける二人の後ろ姿を見送りながら、「なんか、似てる…。」(笑) 食事最初はどんなものがよいか、あれこれ考えましたが、本当に普段と変わらないものを出すと、「おいしい。」と言って、たくさん食べてくれました。

週末、先生方のご配慮で計画してくださった、大阪城や海遊館をめぐる一日バスツアーに、私達両親も参加させて頂き、とても楽しい時を過ごさせて頂きました。なんとその後、生徒さんたちで、京都の祇園祭に行き、本当に充実した一日を過ごしたようです。

休日の最終日は、北野高校のお友達も来てくれて、たこ焼きパーティーで盛り上がりました。その後、カイルが、あちらのご家族へのおみやげを買うというので、色々とお店をまわったのですが、一生懸命選んでいる様子が、とても微笑ましかったです。

いよいよ帰国の前日、台風が接近し、空路が心配されましたが、午後には天気も回復し、無事予定どおり、みんな元気な笑顔で帰国の途につかれ、本当にほっとしました。

それから三週間ほど後、カイルからお礼状を頂きました。家族それぞれにお礼を書いてくれて、私には「天ぷらうどんや、カレーライス、おいしかった。ありがとう。」(もちろん英語ですが！)とありました。とても嬉しかったです。息子は今もメール交換をさせて頂いていて、今後も再会を楽しみにしているようです。

最後に、このような機会を与えてくださった、北野高校の先生方に感謝し、この交換留学制度がずっと続いていくことを願っております。

#2 Matthew & Aさんご家族

マットを受け入れて

Y・A

今回でぼくは、北野のホームステイの受け入れをするのは2度目だった。2011年7月13日、今回うちに来たのは、マット、Matthew Shepard。彼は完全にアウトドアよりインドア派で日本のあまり知られてないマニアックな漫画などが好きだった。7月13日、京都のアニメイトという漫画やそのグッズを売ってる店に2人で出かけた。ぼくはアニメイトなんて存在すら知らなかったのに、彼が知っていてビックリした。彼は「ヘタリア」という漫画が好きらしく、その漫画の日本語版など、たくさんの漫画をお土産に買って帰っていた。彼の妹も漫画が好きらしく、こっちは知ってる人が多いと思う「幽遊白書」を買ってあげていた。とにかく漫画関係だらけで、なんか・・・すごかった。そのあとは留学生のうちの1人でマットととても仲の良いアンナと、そのホストのTさんと一緒に清水寺へ行った。ぼくも清水寺へは行ったことがなく、とても楽しみにしていた。清水の舞台から飛び降りるようにとよく聞くんが、どんなにすごいのか見たことがなく、見ることで良かった。日本の伝統文化のお寺、その中でも国宝に指定されている清水寺を見ることができて、マットもとてもうれしそうでした。ただ、残念なことにその日は土砂降りで、ぼくもマットも上から下までびしょびしょ。歩きで移動していたのでマットには悪い事をしたと思う。そのあと四条まで戻り、「NI NJA SWEETS」という、バイキング形式のお店でご飯を食べました。店員が忍者のコスプレをしていて、マットも喜んでいたと思う。もう1人の留学生アンナも結構喜んでいたんじゃないかな？あんなコスプレ日本でも普通に過ごしていたら見ることができないので良い経験になったと思う。

ぼく自身クラブなど忙しく、今回一緒に行動できたのは、この京都へ行ったのと、ボーリングだけだった。他のホストに天神祭やカラオケへ連れてってもらったり、先生方に海遊館などのツアーを企画してもらえ、とても感謝しています。

前回来た留学生は、とても社交的でクラブの友達をうちに呼び、手巻き寿司を作ったりして喜んでくれたので、今回もしたが、マットはそういうのは苦手みたいで残念だった。

マットとの時間があまり作れずほんとに残念で仕方なかった。前回来た留学生は向こうからすごく喋ってきける人だったので、今回もそうだろうと思い込んでいた。しかし、そうではなく人それぞれ接し方が違うと再認識した。もっとこちらから話していけばよかったと、今更後悔している。

マットを迎えて

(保護者)

7月13日、午後7時過ぎに阿武野のホストファミリーの方に連れられて、江坂駅に到着。大きなスーツケースをかかえて階段を降りてきました。スマートな好青年という感じのマット。車で家まで来て、家の中を説明して落着いてもらいました。とにかく荷物が多く驚きました。日本に来てからの様子は阿武野のホストファミリーの方に伺っていたので多少情報がありました。あまり食べないということなので、明日からの食事をどうしようか不安でした。また日本語はいまひとつ・・・ということで会話は英語のみ。こちらは英語が全くダメなので会話がキャッチボールにならず、どうしたらいいのかと言う感じでした。たまたま、翌日の夜に英語の話せる私の妹が実家に来ており、急遽来てもらいました。お陰でマットも饒舌に話をしてくれ、少し打ち解けた感じがしました。どうやら彼は大きな将来の夢・・・法学を学んで弁護士をして3年ほどしてから外交官になり、最終的には州知事になるという夢(彼いわく

夢でなく必ず実現する事らしい)に向かって日々努力しているとのこと。すこし、わが子にも見習ってもらいたいものです。また、日本に来てからたくさん漫画を買い込んでる様でした。お気に入り「ヘタリア」と言う漫画らしいのですが、息子はマットが興味のある漫画を知らず彼もどうやってコミュニケーションしていいのか戸惑っている感じでした。土曜日には、バレー部のお友達に来ていただいたのですが、マットが留学生のみんなと祇園祭りに行きたいということで出かけて終電で帰ってきました。息子とクラブの友達の家で待っていたのですが、マットが祇園祭りの人ごみで気分が悪くなったようなのでその日はそのまま休んでもらいました。せっかく来てもらったのですが空振りの感じでした。日曜日には、まだ漫画を買い足りないという事でメガストアの梅田のジュンク堂へ行きました。この時はコミックフロアの大きさに目を真ん丸くして、驚き喜んでました。その後、ゲームセンターでUFOキャッチャーをして、なんと3つもゲット！！(ラッキーなことに、二つは受け口に残ってたらしいです)昼食にラーメンと餃子を食べて帰宅しました。餃子はアメリカのほうが美味しいようです。

そんな感じのしどろもどろの生活のなかでも少しずつ夕食後に話をしてくれるようになりました。2012年には18歳になるので大統領選挙に投票できる事を楽しみにしている事や、日本の首相の選出方法に驚いている事、ちょっとしたジョークを言ってくれたり、後1週間、時間があればもっと馴染んでくれたのではないかと思います。また、非常に食が細く大丈夫かと心配もしました。もっと食べたいものや、やりたい事があったのではと思います。日本での生活を楽しんでくれたかどうか不安はつきませんが、無事に終えたときはほっとしました。

前年に引き続きホストファミリーをさせていただき、タイプの違う二人の留学生をお世話させて頂き非常に有意義で楽しい時間を過ごせました。この機会を与えてくださった事に感謝しています。

#3 Anna & Tさんご家族

THANKS ANNA!!

M・T

海外は大好き！だけど、英語なんて得意でもなんでもないし、自分に留学生の受け入れなんてできるのか、不安というより実感のわからない中、一刻一刻とANNAの来る日が近づいていきました。事前にANNAとメール交換をしたり、阿武野高校のHostの方に話を聞いたりして、一週間どのように過ごすかあれこれ悩んで考えました。ANNAが家に来る直前の私は、緊張しすぎてじっとしていられず、変な汗をかきながら、いまかいまかと待っていました♪ 初対面の瞬間は、今までの緊張が一気に吹き飛ぶ程、可愛い！の文字で頭の中が埋め尽くされました。(笑)

一日目は、お土産を交換したり家族の話をしたりしてなんとか乗り切れました。姉の手助けもあり、会話が成立したのでうれしかったです！翌日からは、私とANNAが二人で行動することが多くなり、頼れるのは自分の英語力だけというHardな日々が始まりました。私の無茶苦茶な文法でも、何でも口に出して話してみたら理解してくれて、本当に安心しました。二日目の夕方からは、ANNAも慣れてきたのか、明るく、笑顔が増え、よく喋りました。学校からの帰り道に、ANNAの学校のこと、アメリカの行事(イースター/ハロウィン/クリスマス...)のことなど、今まで海外ドラマの中での話という感覚だったことについて詳しく聞けて、すごくアメリカに行きたくくなりました!! そして会って二日目なのに、「いつか私の家に来てよ!」と言ってきて、心を開いてくれたような気がして感動しました。三日目は、女バレの友達が何人か家に来てくれて、おにぎり&焼きそばPartyをしました。私達よりもANNAが一番上手におにぎりを作っていました。その後、ANNAがピアノとギターで作詞作曲した歌を弾き語りしてくれました。私と変わらない歳なのに、凄いなあとつくづく思いました。四日目は、学校からのツアー、そして祇園祭♪ ずっと着たいと言っていた浴衣を着て、ものすごい人混みの京都へ。留学生全員とHostで行ったので、日本独特の祭の説明に悪戦苦闘しながらも、みんなで楽しく密度の濃い時間が過ごせました。六日目は、A君とMattと一緒に清水寺などの京都観光。お寺にはCOOLとのコメント。夜ご飯を食べた“忍者SWEET CAFE”は今までの中でここが一番!と言うほどANNAは気に入っていました♪ 七日目は、留学生全員とHostとその友達でボーリング! ANNAはビックリするくらい上手でした。

そんなこんなで、あっという間に最終日。ANNAと過ごしてきた短かったけれどたくさんのことを経験できた日々を思い返しながらか、学校へ向かいました。もう、お別れだなんて信じられなくて、話したいことが次から次へと溢れてきました。NONSTOPで喋っているとすぐに学校についてしまいました。せっかくみんなと仲良くなれたのに、まだまだずっと一緒にいたかったのに、という思いで頭がいっぱいになり、TAXIを見送るときは、涙が止まりませんでした。

今回の留学生受け入れを通して、数多くのことに気づかされました。食文化、自己主張性の違い、自分自身の日本文化への知識のなさ、日本のアニメ・ゲームセンターが日米をつなぐ架け橋になっていたことなどです。特に、自分自身が日本の文化を説明できる程知らなかった上に、ANNAから日本の文化を逆にいくつか教えられたことは、日本人として恥かしいなあと強く思いました。これから英語力を磨くのはもちろん、日本についてもきちんと勉強しようと思いました。

“出会いがあれば別れがある”ことの辛さを切に実感しましたが、絶対絶対また会いに行きます!こんな貴重な体験、素晴らしい出会いをさせてくださった北野高校に・・・そして今回、ホストファミリーをするにあたって、協

力してくれた先生方・家族・友達・2の1の皆・Hostの皆、そしてなにより、私に素晴らしい一週間をプレゼントしてくれたANNAに感謝します。

Annaちゃんと過ごした一週間

(保護者)

言葉、世代、生活習慣、3重の壁を前に「何とかなるのだろうか・・・何とかなるだろう・・・」と揺らいだ気持ちでスタートしたAnnaちゃんとの生活。結果、「何とかならないながらも、心が通じ合うってあるんだなあ」と感じられたほのぼのとした一週間になりました。

上の娘が何度か留学先でホストファミリーの方々にご迷惑をかけていますが、帰国後も娘の近況を気にかけて定期的に連絡を下します。こちらがお世話になっているのに・・・と恐縮していましたが、今回Annaちゃんと一緒に過ごして、ホストファミリーの心情が理解できたように思います。

食事や洗濯など身の回りの世話をすることで実の娘のように感じることはもちろんですが、おぼつかない日本語を操りながら一生懸命話そうとする姿、家族のことを話すときの生き生きとした顔、食べられないものが多いというより、食べられるものが数種類という中、「I'll try! 」と言いながらひと口食べて「ゴメンナサイ～」とはにかむ顔、日本のアニメが大好きで、キャラクターを見つけては大喜びする様子、自分で作詞・作曲した曲をピアノで弾き語りしてくれる姿・・・その全てが愛おしく感じられ、ずっと記憶に留まっています。

Annaちゃんが帰国する際に「もっとたくさんいろんなことをおしゃべりしたいから、次に会う時まで一生懸命日本語を勉強します。」と言っていました。もちろん私も英会話の勉強を頑張る約束をしました。お互いの心がつながった瞬間です。

Annaちゃんが話してくれた自分のなりたい職業ベストスリーの中に「日本での英語教師」がありました。近いうちに再会できること、日本で英語教師として活躍されることを心待ちにしています。

Melinda & さんご家族

Melindaとすごした一週間

Y・I

去年もホストファミリーをさせていただいて、本当にたのしく、ぜひ今年もしたいと思っていたので、再び応募しました。去年とは違い、応募人数が8人ととても多く、この中で私がするのはあまりよくないか…などの想いがありましたが、くじを引くと、「当選」という文字が！本当にうれしかった！その日に留学生のプロフィールをもらい、私の家に泊まるのはMelindaというアジア系の女の子ということでした。もうこの日から、私の頭の中はこのことばかり（笑）。本当に楽しみで、Melindaを楽しませるために毎日毎日予定などを考えました。そんなこんなで中間テストも終わり、いよいよMelindaと対面の日がやってきました。六稜会館で会うことになっており、中で待っていると、阿武野高校のホストさんと一緒にMelindaが見えました。私はあえて、こんにちは！と言ったのですがMelindaはそっけなくHelloと言っただけで、全然始めは見てくれませんでした。とてもshyだったようです。阿武野のホストさんとは、なぜだかしばしば筆談するレベル…去年の経験があるため比べてしまい、本当に本当に不安になりました。対面した後は、私の友達と串家でご飯という予定で、どうしてもそれまでに、少しは話ができる程度に打ち解けたかったので、いろいろ話しかけようとしていました。たくさん話題を考えていたはずなのに、いざとなると全くでてこない（；▽；）ノ大変でした！でも、私の話しかけようとしている姿に何とか心を開いてきてくれました。日本にくる前から、メールしていて、ほとんど日本語が分からない様子でした。なので、英語でいいよ！と伝えと、よく話してくれるようになりました。日本語が不安だったようです。食事中は私の友達も彼女に話しかけてくれ、沈黙はなかったと思います。本当に助かりました…無事に食べ終え、帰宅しました。母はMelindaを見て、少し不安になったようでしたが、家に着くなり、リラクマのぬいぐるみのためにUFOキャッチャーで4000円使ったことや、日本での一週間目の話などを聞いて、家族ともすぐに打ち解けられました。次の日は学校！ということでこの日はさっさと寝ました。翌日の朝、Melindaは起こしても全然起きません！何とか叩き起して出発しました。

一週間めで相当疲れていたようで、授業がいやだと言っていました。自己紹介をしたり校内をオリエンテーリングしたりの一日目は楽しんでいました。自己紹介でパニックになったらしく、少し失敗していたのがMelindaです。とても恥ずかしがっていました（笑）。

和を体験してもらいたくて料亭に行ったり、カラオケ、プリクラ、ショッピングなど、日本の女子高生の遊び場にたくさん連れて行きました。遊びに行くときは、会ったときとは大違い！超ハイテンションでずっと話せばなし！ショッピングが大好きで、夏のセール中だったこともあり、大量の服や靴を買っていました。私としては、京都に行ったり、観光をしたかったのですが、先週たくさん行ったようで、「no more temple!」と言われたので、お寺などは行きませんでした。でも、留学生全員で祇園祭にだけは行きました！あれは人を見に行ったようなもので…女の子はホストも含めみんな浴衣で行ったので、Melinda達はとても疲れていましたが、浴衣をとてとても気に入ってくれて、楽しんでもらえたようでした。浴衣は、私がプレゼントしたものです(^-^)/Melindaは、良く言えばとても自分を持っていました。何がしたいかを何でも言ってくれるし、食べたいものも全部教えてくれる。その点はとても良かったのですが、したくないことは絶対しませんでした。彼女にとって不満なときの態度は、びっくりしました。文章で伝えるのは難しいですが、私にはとても申し訳なくてできません。阿武野の週の感想を聞くとtired!一言…私の週がこの一言ですんでいないことを祈っています(; ;)少しこの辺りが驚いたところですが、何を言っても同じ年代の女の子！とても仲良くなりました！今でもメールやSNSで交流がずっと続いているし、また会う約束をしています。それを叶えるために、いつかアメリカを訪れようと思っています。海の向こうにあるアメリカに住む女の子と寝食を共にしたのは、私や家族にとっても素晴らしい経験です。私が得たものはそれだけでなく、この交換留学を通して、一

緒に協力した他のホストの人達は、今ではとても仲良しな友達です。仲良くなれて良かった！こんな機会を与えてくださり、本当に学校や先生に感謝しています。二年連続で受け入れを許してくれた家族、協力してくれた友達にも感謝の気持ちがいっぱいです。ありがとうございました。

ホストファミリーを終えて (保護者)

「またくじが当たった！」という娘の言葉から始まり、昨年に引き続き二度目のホストファミリーという大役をお引き受けすることになりました。慣れているという言葉はふさわしくありませんが、やはり初めての去年とは違い、我が家の誰もが大変という気持ちより、楽しみという気持ちが大きかったようです。また、何が必要か、必要でないかもだいたい分かっていたので、受け入れ準備はすぐに万端整い、メリンダにはどんな時間をすごしてもらうのか、ゆいと確かめ合いながら受け入れの日を待ちました。そしてメリンダの阿武野高校でのホストファミリーも、これも又昨年と同じで顔見知りであった為、娘と阿武野のホストとは連絡をしょっちゅう取り合って、メリンダの行動が重ならないようにと、二人で色々話し合いを進めていたようです。私も受け入れ当日はメリンダの荷物を受け取りがてらに、そのお宅にお邪魔しお茶と共にメリンダの情報もいただきました。

ホストチェンジが終わった後は北野生達と夕食を食べに行くということだったので、夜に自宅近くの駅まで、妹の真生を連れ、二人を迎えに行きました。そこに現れたメリンダは、私達に対して、ほんの少し肩をすくめただけで、笑顔さえ見せず、えっ？という第一印象で、これから先の日々を少し不安にさせる幕開けとなりました。それからの数日間は、彼女達はショッピングにカラオケにとそれなりに充実した時間を過ごしたようでした。メリンダ自身、我が家ではリラックスして、ゴロゴロして、おかしを食べてと普通の17歳という生活を送り、妹にも優しくしてくれました。彼女は日本人は目を見て話してはいけないと固く信じており、本当にびっくりさせられました。さすがに、着物にちょんまげという姿は昔のことだと知っているだろうけど、まだまだ日本人は誤解されている部分は多いのだなど、メリンダと話していて感じさせられました。

あっという間に八日間は過ぎ、帰国の日には台風でずいぶんと心配しましたが、何とか全ての警報が解除になり学校へ登校となりました。駅まで送った私達にメリンダは、今度はニコリと笑っただけで何の言葉も無く去っていきました。手の焼ける娘が一人いなくなったような少し寂しい思いと、あー、終わった！という安堵の思いで、私達は又自宅へともどりました。

もっと日本独自のものに興味を持ち、日本を満喫してほしかったというのが正直な感想です。留学生という名のとおり、我が家が、日本が、学びの場であってほしかったと思えてなりません。彼女は日本食を食べ、洋服を買い、カラオケに行きと、ただ遊びに来ただけでした。遊びも勿論、学びに含まれるだろうけれど.....

何はともあれ、我が家の二人の娘にとって、外国の女の子と寝食を共にできたこと、しかも二年間続けて体験できたなんて、これは二人にとって一生の思い出になることでしょう。すばらしい体験をさせていただき、北野高校に感謝しています。お世話になりました先生方、有難うございました。やはり、何と言っても、楽しい八日間でした。

第4章 交流を終えて

(the impressions of the international Exchange Program in July, 2011)

The questions they are requested to answer are as follows:

- (1) Did your Kitano family accommodate all of your needs?
- (2) Would you prefer to stay with one family for your entire visit or not?
- (3) Though it was a short stay, what did you enjoy most with your Kitano host family?
- (4) What did you think of Kitano? What did you enjoy or what was difficult to do at Kitano?
- (5) Do you have any suggestions that could help to improve our exchange program?

(from Kentwood High School)

Christopher Louck (chaperon)

Q1) As a teacher, Kitano was my host family. Rather than having just one family to visit, I was escorted by many teachers and students. They were very kind and welcoming. I feel that teachers and students exceeded all of my expectations with their extreme kindness and generosity. I was able to try many foods I have never had before and see many wonderful places like Osaka Castle. To me, just being able to meet the other teachers, students, and community members was an experience I will never forget.

Q2) I only visited a family for one evening. The rest of the visit I was in different hotels. I very much enjoyed getting to meet Mr. Sagawa's family. I was able to experience sleeping on a futon in a tatami room. I have always wanted to try this, but feared I never would because hotels typically have western style beds. Being invited to his home and being able to spend time with his wife and daughter was a great experience.

I did enjoy the hotels too. It is hard to say which I prefer. The hotel is very quiet and gave me time to think and reflect. Staying with the teacher was also fun because I was able to experience his life a little. Both were great, but moving luggage around can sometimes be challenging, but I did not mind.

Q3) I enjoyed many things with my hosts. For me, Karaoke with students was very enjoyable because it gave me a chance to get to know them on a more personal level. I learned what songs they liked and I shared music that I enjoy. At school students seem to be a bit more focused, so Karaoke gave me a chance to see them relax with friends and have a good time.

With teachers, I very much enjoyed going to restaurants that the teachers liked to eat at. There were many places with good food, but the small restaurants where teachers would go after work were my favorites. I was even able to meet some of the teachers' friends at a standing bar. They had questions for me about America and my family. We had a lot of good conversations. Even people I met for the first time were welcoming and friendly.

Q4) Kitano is a great school. When I first arrived, I was worried that perhaps students might be too shy to talk to me or too nervous around me because I was a stranger to most of them. They were quite the opposite and I enjoyed that very much. Students were very energetic and most were very quick to greet me each time I walked by. Most of the time it was in English! I tried to give English and Japanese greetings, but my Japanese is not very good. I enjoyed trying though. Kitano has a great mix

of traditional Japanese feeling and modern qualities. It was a very interesting fusion of culture that I think was exciting to see. There really was not much that was difficult to me. My students were sometimes nervous to do speeches, but since I do them frequently as a teacher, I did not mind. The only time I was nervous was when I had to do Japanese introductions. I felt it was important to make my best effort with Japanese, so I feel it was a good learning experience for me. I am glad I brought my own slippers because my feet are too big for the school ones. The heat and humidity was pretty intense in Osaka, but that is normal for summer so my students and I managed the best we could. Sweating seemed to be unavoidable. Bringing a fan around with me and a towel was the best way to deal with the heat. I will recommend this to students who visit Osaka in the future because it proved to be extremely useful in the summer weather.

Q5) I very much enjoyed my visit to Kitano. I think it would have been helpful to have a list of classes that I could visit if I had time or an interest. I was invited to some English classes, but to see others I needed to get permission ahead of time. Since my schedule each day was not always the same, it was hard for me to plan out when I would be able to visit a class, so having a list of teachers who did not mind me visiting would have been helpful. I did not want to interrupt the teacher's lessons. On the other hand, walking around the school during class was very enjoyable too. I was able to really see the buildings by casually walking around. That freedom to rest or take a walk was a nice change from having a long schedule of events at school.

I would like to thank all the staff, students, and families of Kitano High School. I felt very included and welcome during my stay. To be included in everyone's lives is something I will always remember. This exchange program promotes a bond of friendship that I feel will last forever. I look forward to welcoming Kitano students and teachers to my school in the future and hope to be able to come to Osaka again. Thank you all so much for including me in your Kitano family.

Anna Krussel

Q1) My family that I have stayed with while going to Kitano high school has met all my accommodation needs and more. The Tanaka family while going to Kitano high school has met all my accommodation needs and more. The Tanaka family has been really nice to me and I don't know how I could ever repay them. Some of the kind things that they did were they tried to give me new foods to try and I liked a lot of them. There was also the language barrier that made a problem, but they tried hard to speak in English for me and I tried to speak in Japanese for them. Because they welcomed me into their home I got the chance to make longtime friends and bonds so that when I come back I know I won't be alone.

Q2) I think that if I had not just stayed with the Tanaka family that I would not get to be close to them and that I would feel like I am moving around too much. I think just staying at one family while staying at Kitano is a great way for kids that come to make longtime friends and make a closer bond with the students than what they would have if they were switching hosts. One host is the perfect

amount of hosts for staying at this school.

Q3) I know I only stayed for about a week but I liked how they weren't closed up and that they were willing to be open and talk to me even though our languages were different. I'm glad I got the family I did because they enjoyed having me and I enjoyed staying here with them. We did many fun things together so I wish that I can come back and spend more time with this family later in the future.

Q4) I enjoyed going to Kitano very much. I made many new friends that I hope that I can be friends with for a long time. My favorite part about Kitano was everyone calling out my name just to say "hi" to me, that made me feel much more welcomed. To me there weren't many hard parts about going to the school, everyone was really nice and wanted to talk. Kitano is a great school and I am glad that our schools have a tie because if it didn't I would not have gotten the chance to come and make all the new friends that I did.

Q5) A suggestion that I have for the exchange program are that there is more time for the other students in the school to introduce themselves, if they got that time who knows how many more friends I would have gotten to make. Other than that I think that the exchange program was great and I had lots of fun! Thank you for letting my friends and I come to Kitano high school, we had a great time and we will never forget our time here.

Melinda Insixiengmay

Q1) My Kitano family was wonderful. I stayed with the Ikeda family and they were so generous and kind to me, and yes, they did accommodate all of my needs. They made me feel like I was part of their family. Whenever I needed something, there was no hesitation what so ever to help me. I was very worried when switching host families that I wouldn't be able to establish any kind of bond or even communicate with them because of my lack of speaking very much Japanese. But I was warmly welcomed into their home, and every night I'd stay up talking with them. They gave me the chance to try unfamiliar foods and showed me how their lives went day by day, and it surprised me how we differ but have similarities as well. I had little knowledge of the many customs and culture and even the language itself, but they were very patient with me and took the time to teach me. I had a wonderful time with the Ikeda family and created many memories with them in the span of a week that I will never forget.

Q2) Staying with one family does sound less stressful but I think having the experience of staying with two separate families is a great idea. We get the chance to temporarily live two different lives and go to two different schools. You have the chance to meet even more people and see new faces versus having to see the same faces and do the same routine for a whole two weeks. I think that just takes away from the learning of the program. Not only that, but getting to establish many new friendships is something that you will undeniably love and is a once in a lifetime experience since it is in an unfamiliar country.

Q3) During my stay, the most memorable thing to me was actually the first day attending school. I was with a new host family at a new school. Not only that, but we all had to do an introduction in front of the whole school! That day, I personally thought I messed up horribly on my intro. I got embarrassed and panicked, saying "OMOMO" repeatedly and trying to remember the rest of my intro. I

could hear hundreds laughing and even heard a, "Kawaii!" Though that was an embarrassing first day, I was actually surprised with students came up to speak with me! I had actually made new friends and the whole experience of attending a Japanese school was honestly like being in an anime or drama. But out of this whole week, I loved attending school, even though at most times it was tiring, it was where most of my memories was created.

Q4) Kitano was very clean and did give off that look as a prestigious school. That made me really nervous. I had the impression that everyone at Kitano was very smart and outgoing. Everyone was very friendly, students and teachers would pass by and almost always say hi to us. What I enjoyed most at Kitano was being in class with the students. They wouldn't hesitate to talk with us and ask us questions. Some students even did some AKB48 dances for us! Being able to have the chance to talk with the other students was what made going to class fun and worth while.

Q5) A small suggestion would be to extend the time we are able to stay in Japan. We had little time to bond much with our host's since our schedules was filled with activities set by the school. Once we returned home, we were too tired to even really communicate with our hosts with the little time we had.

I never thought I would be able to come to Japan. Since I was a little girl, I was very into anime and Japanese music, and their whole culture. But I never thought I would ever have the chance to come here and see how everything is really like with my own eyes. This was an amazing opportunity that I actually almost turned down, but I'm glad I was able to come here and see a little part of Japan. I have to thank my family and school for giving me such a great chance to be here, never in my life did I think I would be able to come to Japan. Thank you to the students of Kitano and our families for welcoming me us and for planning so many events for us. It really has been unforgettable and the many memories I've created here in Japan will always be cherished. I can really brag to everyone how I was able to be in Japan now!

(from Kentlake High School)

Kyle Woo

Q1) I had an incredibly generous family, the Kawasaki family. They were very kind, patient, and caring towards any of my needs. Everyone was always making sure I was comfortable and I'm very grateful for it. Even when we had moments where I was unable to understand what was being said they were patient and we usually were able to figure it out. The Kawasaki family made this a very happy and memorable experience for me.

Q2) I think that staying with more than one family is more valuable because you will get different experiences with different families. While it is really hard to switch families after the first week and adjust to your new family, the more opportunities to experience different things you get, the more valuable the trip becomes.

Q3) My favorite experience was going to Osaka Castle and the Osaka Aquarium with everyone on the

16th. We took a huge tour bus to Osaka Castle. At the top of the castle was an amazing view of Osaka and we all took several pictures. I bought a Detective Conan souvenir and Hello Kitty pens for my cousins. On the way down the Castle we learned a lot about the history of the castles and the generals who built it (it was in English and Japanese). On one level there was a stand where you could try on old general's hats and armor, and we got some great pictures of Matthew and Chris in old samurai armor. Afterwards we had a delicious udon and ramen lunch, where I ate my udon and Matthew's ramen J. We then traveled to the Kaiyukan, the largest aquarium in Japan. The fish and other animals we saw there were amazing! There were dolphins, seals, sharks, nearly everything you can think of in the ocean. The most interesting thing was the spider crabs, which I've never seen before. The final thing we did was go to a shopping mall, where me, Melinda, and Yui ate some delicious ice cream.

Q4) Kitano is a very impressive school and incredibly huge compared to most American schools. The students here seem incredibly dedicated, probably because of the effort it takes just to get in. I enjoyed being in class with other students, though classes such as math were difficult for me to understand in Japanese.

Q5) I think the program as it currently is needs little improvement. I personally wished we had a longer stay, to spend more time with our hosts and other friends in Japan, but I understand how difficult it would be both for hosts and the exchanges. I'm very happy and grateful of the wonderful experiences I've had here in Japan. Thanks to everyone who helped me come here, especially my host families and my own family.

Matthew Shepard

The Kitano family I stayed with accommodated for all of the needs I had and they seemed very generous and kind. The parents both knew some English so they were able to help me though much of what I needed. They did everything I think a host family should do for their exchange student. They were very good to me and I hope I have the ability to meet them again.

Q1) No, I would not because you do get a lot of different experiences between both family and I think it's good that you can be able to see how two different family function. Now switching family's is very hard. I felt very rushed and I didn't get much of a good bye but I still did like my second family.

Q2) My favorite thing would have to be just talking with the host parents we would often have long discussions about the randomist of things and I love talking a lot of my family, friends, and some teachers will tell you that and I just felt a bit better when I could actually relate to someone here. Though my host student had volleyball he tried to make it to as many functions as he could. It was a wonderful family and I hope I can talk with them soon I really did like my stay at Kitano and I hope I can visit this school again.

Q3) I thought Kitano was a really cool school to go to cause it just looked cool my first day we were walking up to the building and I looked over and I thought to myself is that the school then we started

entering the campuses and I thought wow soooo cool. I was bummed that there was no anime club but I got to go to English speaking club instead and that was a lot of fun just talking with other students there it's just a great experience and I hope I get it again.

Q4) I knew my first host before I went to her house because she had stayed at kentlake before so I felt it was a little easier to adjust to Japan while staying with her. So I think that if the student knows the other before there stay then they can better ready themselves for their stay and I just like the feeling of knowing someone was there for me during my stay but I really have no ways that I think that it can be improved besides maybe trying to be able for more students to come that way there is a greater ability for the learning of other cultures.